

スペシャルゲスト 若宮 正子さん(講師)



1935年生まれ。58歳からパソコンを独学で習得し、2017年にスマホアプリ「hinadan」を公開すると、一躍注目を集め、米アップル社ティム・クックCEOより世界開発者会議（WWDC）に特別招待されました。その後、数々の政府主催会議構成員を勤め、現在は、岸田首相主催・デジタル田園都市国家構想実現会議構成員。また、昨年は台湾政府デジタル担当大臣のオードリー・タンさんとの座談会を行うなど、IT分野において広く活動されています。

会議構成員を勤め、現在は、岸田首相主催・デジタル田園都市国家構想実現会議構成員。また、昨年は台湾政府デジタル担当大臣のオードリー・タンさんとの座談会を行うなど、IT分野において広く活動されています。

ふるさとづくり青年隊とは

地域の活性化や課題解決に取り組む地域団体の活動に、様々な地域の青年が参画し、連携して活動を進めるのが“ふるさとづくり青年隊”です。

この取り組みを通して若者のふるさとへの感謝や地域貢献への意識を高め、将来の地域づくりの核となる人事育成を図っています。令和3年度は、約90名の隊員が県内各所で地域づくりに取り組みました。

事業選定委員紹介

- 岡本 光司 委員長
(兵庫県世界青年友の会 会長)
- 山崎 清治 委員
(兵庫県青少年団体連絡協議会 副代表理事)
- 下前 康夫 委員
(一財) 野外活動協会 事務局長)
- 大西 巧 委員
(一社) 兵庫県信用金庫協会 常務理事)
- 長沼 隆之 委員
(神戸新聞社 論説副委員長)
- 萬代 由希子 委員
(関西福祉大学 社会福祉学部准教授)
- 木村 晶子 委員
(兵庫県企画県民部 女性青少年局長)

“ふるさとづくり青年隊”への 参加青年を募集しています

地域課題に取り組む団体と、まちづくりなど地域活性化に向けた活動をしませんか？

活動は月に1回程度で大丈夫！交流会や団体見学などもあり、幅広い年齢層や職種の方々との出会いもあります。交通費は団体負担なので、遠い地域団体にも加入しやすいです。地域づくりなどのノウハウを学ぶチャンスです。

詳しくは青少年本部ホームページをご覧ください。
ご応募お待ちしております！

参加青年の応募はコチラ

青少年本部HP

Facebook
ふるさとづくり青年隊

<応募締切>

令和4年

4月22日(金)



公益財団法人
兵庫県青少年本部 活動支援部

〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8階
TEL : 078-891-7410 FAX : 078-891-7418



兵庫県 企画県民部 青少年課

〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL : 078-362-3143 FAX : 078-362-3957



公益財団法人
兵庫県青少年本部
Hyogo Youth Services Administration

ふるさとづくり青年隊

～つなごう、ふるさと、ひと、みらい～



活動報告会

日時 令和4年2月23日(水祝)13:00～16:45

会場 兵庫県民会館11階 パルテホール

(神戸市中央区下山手通4-16-3)

主催: 公益財団法人兵庫県青少年本部・兵庫県

本日のスケジュール

- 13:00 開会行事
団体紹介映像
ご挨拶
- 13:15 各団体活動報告
各団体8分×9団体
- 15:00 講演
- 16:00 グループワーク
- 16:35 閉会行事
- 16:45 閉会



はじめまして、「ラララたかひら」の鷹羽 真歩（たかば まほ）です。人前で話すのはあまり得意ではなく、すぐ緊張してしまうのですが…、今日は司会の一人としてこの場を楽しみながら活動報告会を進めたいと思っています！ よろしくお祈りします！

司会 たかば まほ 鷹羽 真帆

はじめまして、「CHATTA」の木村 聡史（きむら さとし）です。司会をするのは人生で初めてなのでとても緊張しています。ですが！精一杯楽しんで司会を務めさせていただきたくもりますので、よろしくお願いします！



司会 きむら さとし 木村 聡史

新規団体



つながる居場所

人と人の縁を大切にするとので思いで名づけた「つながる居場所」。シニアを対象としたスマホ講習のなかで、青年とシニアがともに楽しみながら交流し、シニアの新たな社会との繋がり方を模索しました。



ラララたかひら

三田市高平地区は、過疎化、高齢化が進んでおり、そんな中で高平に移住する人や、次世代の農業の担い手を確保していくことが課題となっています。ラララたかひらでは、若者の目線で高平の魅力を発信することで課題解決を目指しました。



相生(おお)の港町を持続させる会

相生(おお)地区にある港町で、青年と一緒に住まい×仕事×暮らし方の視点で空き家や仕事に関する情報収集を行い、発信することで交流人口増加や移住者の獲得を目指します。初年度は「おおのまちマップ」を作成し魅力を再発見しました。



継続団体



考える人

元町商店街は神戸駅側に行くほど人通りが減っています。三宮-神戸間を歩く人が増えている一方、商店街での消費は増えていません。商店街を活性化するべく「ものがたりフェスタ」第2巻を企画。ペッパー君を活用したイベントを実施しました。



淡河町地域振興推進協議会

豊かな自然と歴史文化を育む美しい農村地域で、定住・交流人口の増加を目的とした取り組みを行っています。今年度は、町内全域をめぐり、図書館、ホテル復活を目指す「カワマツプロジェクト」に青年が企画、参加しました。



繋がるたつのプロジェクト

里山整備活動を通じて里山への知識や地域名産物への認知を深め、発信。里山整備で伐採した竹を名産物と掛け合わせるなど、試行錯誤しながら地域の住民とともに魅力を再発見。SNS等を通じて外部へ発信しました。



陰陽師の里

江川フェスティバル実行委員会 江川川沿いに11の集落が点在している江川地域は、働く場所が少なく若者が都市に出ていき、少子高齢化が進行しています。地域の元気を取り戻すため、地元青年、元気な高齢者、他地域の大学生がコラボし、活性化に取り組みました。



CHATTA

氷上町の成松地域で、商店街の空き家を活用した活動。「チャレンジの場」「商いの拠点」「学生の拠点」の3本柱を指針に、地域全体の良好な景観及び、住環境の形成を目的に、青年たちが地域住民と協働しました。



NPO法人環境ユースイングてんま

「いなみ野水辺の里公園」を拠点として、子供たちに自然体験や環境学習を提供、支援する活動を行っています。青年は、子どもたちの身近な見本となる自然活動リーダーとして活躍。地域に貢献し、青年自身も今後に生かせるステップとなりました。

